

開催報告

知ろう 話そう 事業団 with 介護



介護ハンドブック
詳細版はこちら
から見られます



社会福祉法人調布市社会福祉事業団 両立支援プロジェクト

事業団初！介護についての説明会+座談会を10月31日(木)に開催しました。

現在介護をしている方だけでなく、今後のために知っておきたい方、また事業所の職員の抱える諸事情に対応するために参考になりたいといった方など、24名の職員の参加がありました。

参加してくださった方も、シフトの調整をしてくださった方々にも、感謝を申し上げます。

当日の様子をレポートします。

第1部 説明会

講師：本部事務局 岩崎主任

介護ハンドブックを用いて、相談窓口、制度の紹介、介護休業等の対象となる家族、また職場に介護を必要としている職員がいたら…等の説明がありました。

規程を覚えることが重要ではなく、「まずは相談しやすい人に相談してほしい」という話が、繰り返されていました。

また、令和7年度に法改正があるため、介護離職防止のための雇用環境整備、個別の周知、意向確認の義務、テレワーク導入の努力義務など国の動向にも触れた内容にもなりました。



第2部 体験談

実際に介護を体験されている職員の方2名より、体験談をお聞きました。

現在の介護の状況、自身で行っている介護、利用している介護サービス、活用している事業団の制度、仕事と介護を両立していく上でのポイントやアドバイスを話していただきました。

介護サービスを使いながらも、自身が動かなくてはいけない場面も多くあり、介護休暇を活用されているとのお話がありました。時間単位で介護休暇が取得できるメリットは大きいとのことでした。

管理職や事務、一緒に働く職員に状況を伝え、まわりの理解を得ながら、工夫して仕事と生活を両立させているお話しをお聞きすることができました。



第3部 座談会

15分間という短い座談会ではありましたが、各グループではたくさんのお話があがっていったので紹介します。

「介護が必要な家族がいる職員がこんなにいるなんて！」

「介護休業というものを初めて知りました」

「出会うケアマネージャーさんにもよりますね」

「特養の見学、たくさん行きました。地方だと選べないですけどね」

「遠方の介護か、近距離の介護かでも、随分違いますね」

「休みをとるタイミングを迷います。見通しがつきづらいものなので。」

「親の世代って、自尊心もあるからサービスを使いたがらなくて…」

「職場での日頃からのコミュニケーションで大切ですね」

「休みが必要なときに誰もが休みをとりやすいように、支え合えるようにしたいですね」

「障害等配慮を必要とする家族のいる職員も少なからずいるので、使える制度があるといいですね」

「困ったときに、視覚的にわかるロードマップのようなものが欲しいです」

「介護にあたる職員のメンタルケアも重要です」

感想、ご意見やご質問などありましたら、各施設の両立支援プロジェクトメンバーまで、ぜひお寄せください。